

山梨県立

考古博物館だより NO. 84

<http://www.pref.yamanashi.jp/kouko>



Image:TNM Image Archives

棺の中には秘密が眠っている。

ひつぎのヒミツ

～棺から読み解く古墳時代～

上：三角縁獣文帯三神三獣鏡 大丸山古墳 東京国立博物館蔵

下：【重要文化財】金銅装獅咬環頭大刀 金鈴塚古墳 木更津市郷土博物館金のすず蔵

背景：ガラス玉 ラッコカ古墳 大阪府教育委員会蔵

ひつぎのトビハシ

〜棺から読み解く古墳時代〜

「古墳」は古代の有力者のお墓です。お城と比べると地味かもしれませんが、溝や埴輪に囲まれ、石が葺（ふ）かれた墳丘を持ち、その一角に金などの貴重品をふんだんに用いた見目麗（うるわ）しい副葬品が、棺とともに眠っている――そんな想像をすると、なにやら神秘的で素敵ではありませんか？

ここ山梨県にも、東日本最大級の甲斐銚子塚古墳をはじめ、多くの古墳が築かれており、多数の副葬品が発見されていますが、一方で、肝心の棺にはわからぬ部分が多くありました。

「棺」というと抵抗がある人も居るかもしれませんが、しかし、一連の葬送儀礼では納棺（なぐわ）埋葬までがクライマックスにあたります。これまで、古墳は政治的な意味が重要視されてきましたが、近年は社会学や心理学、宗教など、あらゆる方法を駆使して、そこで行われた儀礼の内容や意味まで踏み込めるようになってきました。特に、棺のえらびかた、納め方、副葬品の配置、葬送儀礼のあり方など、棺を取り巻くさまざまな研究が、当時の社会や宗教、死生観などにせまる非常に魅力的な素材となっているのです。

本展では、実物の「棺」はもちろん、国宝・奈良県藤ノ木古墳出土品を筆頭に、国宝・重要文化財を含む全国各地の貴重な品々を取りそろえ、古墳という莫大な労働力の投入と、贅（ぜい）を尽くした副葬品を生むに至った当時の人々の死生観にせまりたいと考えます。ご期待ください。

背景：ヲシヨカ古墳横穴式石室（奥室）全景（大阪府教育委員会）



残らざる棺 ―木棺―

木棺は材質上、完全な形で発見されることはほとんどなく、山梨の古墳においても確認されていません。ここでは全国で発掘された棺の中でも稀有な存在である木棺について、重要文化財を含む貴重な副葬品とともに公開いたします。



王墓の棺 ―石棺―

考古博物館のある甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園にある大丸山古墳では、1929（昭和4）年に長持形石棺が発見されており、その構造は多くの副葬品とともに早くから研究者たちに注目されてきました。この章では、大丸山古墳出土の豊富な鉄製品のほか、国宝に指定されている奈良県・藤ノ木古墳から見つかった見事な装飾品の数々を展示公開するとともに、古墳時代の工芸技術について考えます。



右上：【重要文化財】画文帯環状乳四神四獣鏡（14号鏡）大和天神山古墳 奈良国立博物館蔵
 右下：藤ノ木古墳 石棺と玄室 / 左上：【国宝】カス裏玉・粟玉 藤ノ木古墳 文化庁蔵（奈良県立橿原考古学研究所附属博物館保管）
 左下：単龍環頭大刀 山王山古墳 市原市教育委員会蔵



焼き物の棺 —陶棺—

國學院大學博物館に所蔵・展示されている笛吹市御坂町井之上古墳の陶棺は、1952(昭和27)年に個人所有の畑から発見されましたが、発見当時の写真や記録、その後の調査などから古墳の石室から出土したものであることが明らかになっています。現存する陶棺として、東日本での貴重な一例である本品について、その系譜や東日本での位置づけについて再考します。



終末期古墳の棺

6世紀末～7世紀初め頃には前方後円墳の築造は終焉を迎え、代わって大型の方墳や円墳、八角墳、上円下方墳などが営まれます。埋葬施設には横穴式石室に加え横穴、横口式石槨などが出現し、棺には木棺・石棺・陶棺・漆塗り籠棺など多様な棺が納められるようになります。新たな時代へと向かう7世紀代の棺と副葬品を紹介します。



棺から読み解く古墳時代

I～IV章までに紹介したさまざまな棺や副葬品は、いずれも山梨の考古学史においてきわめて重要な資料ですが、構造や系譜などについては依然として不明な部分が多くあります。最後の章では、これらが埋納された背景について考察し、古墳時代の人々の死生観・来世観の変遷を垣間見ます。

画像 / 上：陶棺 井之上古墳 國學院大學博物館蔵
 中：金銅棺金具 竜田御坊山1号墳 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館蔵
 下：シヨウカ古墳石室入り口 (大阪府教育委員会)



特別展記念講演会

会場：風土記の丘研修センター 講堂

参加費：無料(要予約)

参加方法：9月22日(金)から電話またはホームページの電子申請から申し込みを受け付けます。

第1回：「古墳時代の木棺」 平成29年10月22日(日) 岡林 孝作 氏(奈良県教育委員会文化財保存課)

第2回：「東日本の古墳と石棺・陶棺」平成29年11月5日(日) 石橋 宏 氏(東北大学埋蔵文化財調査室)

第3回：「棺から読み解く古墳時代」 平成29年11月19日(日) 和田 晴吾 氏(兵庫県立考古博物館長)

特別展 第35回

ひつぎのヒミツ ～棺から読み解く古墳時代～

2017. 10.4(水) ▶▶ 11.23(木祝)

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料 一般600円(20名以上の団体480円) 小中高校生・県内在住の65歳以上 無料

障害者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名 無料

休館日 毎週月曜日(10月9日・11月20日は開館)

背景 / 上：【重要文化財】金銅透彫金具 金鈴塚古墳 木更津市郷土博物館金のすず蔵
 下：藤ノ木古墳／石棺 北側被葬者の頭部周辺の装身具

考古博 de
**上半期
イベント**
4月▶8月

4月30日(日)

甲府城の瓦で拓本しおりをつくろう！

甲府城跡から発掘された本物の瓦を使って
拓本を取り、オリジナルのしおり作りに挑戦。



兄弟できれいに
大・中・小！

5月3日(水)

5月4日(木)

こどもまつり For 考古博物館

こどものための春の祭典・こどもまつり！
古代にちなんださまざまな体験イベントを思いきり楽しみました。



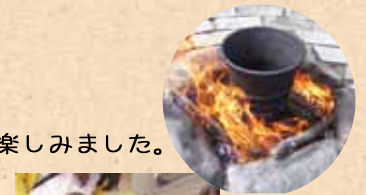
木にも登っちゃうよ！



お馬さんも来たよ。



火をおこせ！



子ども用の杵と臼
ならぼくでもできる！

縄文問答「なるほど！考古博」

縄文時代に関する素朴な疑問やナゾに答えながら対話形式で進めるミニ講座！

5月21日(日)

第1回
「探してみよう！縄文
土器の中のタネとムシ」



7月9日(日)

第2回
「縄文土器っていいね！」

中国少数民族の文様と
縄文土器のつながり
とは…？

7月15日(土)

夏休みイベント

県下文化施設6館をめぐる「夏休みスタンプラリー」に関連して、考古博では
今年も小中学生に向けた体験イベントもりだくさん！ものづくりでは、子ども
たちの独創性がバクハツしていました。

8月27日(日)



イロイロ
土偶作り

みんなが作った
カラフル土偶♪



プラバン
ストラップ
作り

勾玉作り

青銅鏡
作り



ミニミニ
発掘体験

キーワード
クイズラリー



キーワードに答えて
オリジナル土偶カード
「Doguca」をゲット！